

2024年4月に運用開始

北大阪消防指令センター

問合せ 北大阪消防指令センター
☎06 (6155) 5119 へ



北大阪消防指令センターってどんなところ？



その
1

北大阪消防指令センターとは

摂津市・豊中市・吹田市・池田市・箕面市の5市が共同で通信指令業務を行う場所です。豊能町、能勢町を加えた5市2町からの119番通報を受け付けています。

北大阪消防指令センターの仕事

24時間体制で5市2町の約114万人からの119番通報を一括で受け付け、通報内容などから災害発生地点や災害種別を決定し、消防隊や救急隊などへの出動指令、現場活動の支援など、部隊が円滑に活動できるための役割を担っています。

なお、共同運用により消防署の位置や管轄区域が変わることはありませんので、消防隊や救急隊などはこれまでどおり各市のそれぞれの消防署から出動します。

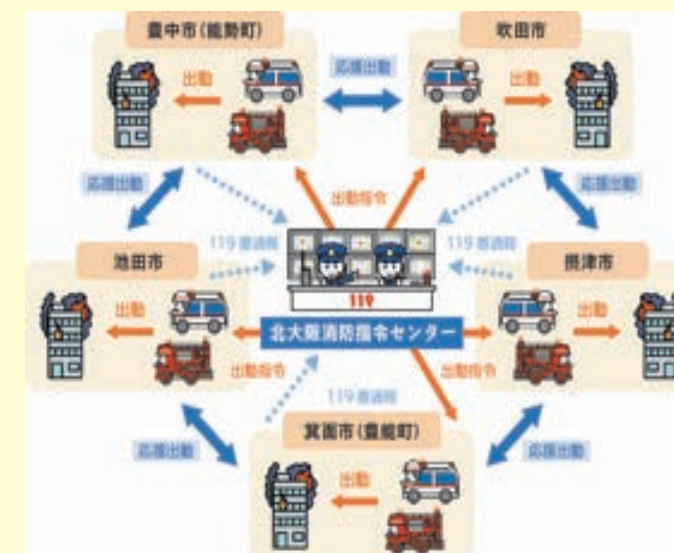
その
2

北大阪消防指令センターの管轄区域



その
3

北大阪消防指令センターの共同運用イメージ



その
4

他市との共同運用で期待されるメリット

1 受信能力・処理能力の向上

大規模災害時などの119番通報が集中する状況下では、指令台を増設し、通常時より指令台受付要員を増員することで、確実かつ迅速に災害事案を処理できる体制を確立しています。

2 近隣消防との連携強化

災害状況などの情報を一元管理できることで救急事故多発時や大規模災害時などにおいて、119番通報の受信と同時に応援出動が可能となるなど、近隣消防との迅速な相互応援出動が強化されます。

3 現場要員の増強

指令業務に従事する職員を減らすことができ、消火や救急などの現場活動要員を増強することができます。

4 設備費の大幅な削減

共同で設置・運用するため、各市で個別に整備するよりも整備費用が大幅に削減できます。

1 通報受付



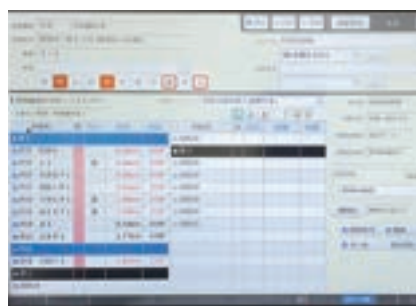
119番通報を受信すると、指令台に通報者の発信場所付近の地図が表示されます。

2 災害発生地点・災害種別の決定



通報された住所や付近の目標物および位置情報システムをもとに災害発生地点を特定します。
また、通報内容から火災・救急などの災害種別を決定します。

3 出動隊の編成・予告指令



災害の発生場所、種類、規模により、車両を自動的に選定し、出動隊の編成を行います。
また、それと同時に予告指令を出します。

4 出動指令



音声合成装置による出動指令を、庁内放送や無線で送出するとともに、詳細な指令情報（災害発生地点付近の地図、気象情報など）を指令書として出力します。

5 出動・活動支援



出動車両端末に指令内容などが表示され、その情報をもとに消防隊や救急隊が現場へ急行します。
消防指令センターは、的確・迅速に活動ができるよう支援します。

状況を正確に伝えられます！

たくさんのモニターが
並んでるね！

最新 システム導入

Live119(映像通報受信装置)



消防指令センター に欠かせない装置

指令台装置



通報者のいる場所の動画が、消防指令センターでリアルタイムに見られるシステムで、傷病者の状況や災害現場の状況を詳しく知ることができ、通報者に救命処置など適切な対応を促すことができます。

※ Live119 を使用する際、通報者には携帯電話の契約に応じた通信料がかかります

- 指令員が通報者に対して、Live119による映像伝送のご協力をお願いします。
- 了承いただくと、指令員が通報者の電話番号宛てにショートメッセージ(SMS)を送信します。
- メッセージを受け取ったら、記載されたURLをタップします。
- ウェブブラウザからLive119が起動します。
- 撮影前の注意事項を確認します。問題がなければ承諾いただき次に進みます。
- Live119ではマイクやカメラ、位置情報を使用します。使用の許可をして次に進みます。
- ビデオカメラボタンをタップして撮影を開始します。
- 撮影している映像は指令員へ伝送されます。指令員が現場の状況を映像で確認します。

119番通報受付から災害発生地点・災害種別の決定、出動隊編成、出動指令、災害発生場所の支援情報提供、関係機関との情報共有および事案の記録などのすべてをこの装置で行います。

地図ディスプレイ
自動出動指定ディスプレイに入力した住所や建物を中心とした地図を表示します。

多目的ディスプレイ
車両一覧、病院一覧、支援情報が場面に応じて表示されます。

指令台マルチパネル
画面をタッチすることで、警察、消防、ライフライン関係機関などへダイレクトに連絡をとることができます。

自動出動指定ディスプレイ
住所と災害の種類を入力すると自動で出動計画に沿った車両が選別されます。

受付補助ディスプレイ
タッチパネル式の液晶ディスプレイを取り入れたことで、手書きでメモを取り、そのメモを出動車両の端末に画像として送ることができます。
また、画面を切り替えることで、119番通報の会話を音声認識し、リアルタイムに文字化した画面を見ることができます。



大型モニター

各消防車両の状況や災害現場の映像、気象情報などが表示され、24 時間体制で情報管理を行うことができます。



気象情報収集装置

気象情報を自動観測し、表示と記録ができます。テレビなどの気象情報だけではカバーできない、局所的な情報をリアルタイムで監視し、現場活動で活用しています。



高所監視装置

市内の災害を 24 時間監視。災害が発生すれば消防指令センターの指令台と連動して、早期に火災の状況などを把握し増強出動を行うなど市内の災害情報に役立てています。



Net119（緊急通報システム）およびメール 119

「Net119 緊急通報システム」と「メール 119」は、どちらも視覚、言語機能などの障害により 119 番通報が困難な人が、携帯電話を用いて消防指令センターへ緊急通報を行うことができる仕組みです。「Net119」は「メール 119」と比較して GPS 機能などを活用し通報場所の特定が素早く行える、チャットを活用して文字による双方向のやりとりが行えるなどの特徴があります。

※ Net119 は、事前登録が必要です



△ Net119 画面



△携帯電話の画面操作により緊急通報が行える

「メール 119」の宛先変更

メール 119 の宛先を **119@noc119.jp** に変更しました。（✕ mail@119settsu.jp は送信できません）